

**当院の抗菌薬
適正使用の取り組み**
平成28年度 第4回クローバーカンファレンス
発表内容の報告

感染制御チーム
薬剤部薬剤師
奥村 早穂
Nankoku Hospital

第2部座長 精神科部長 玉元 徹

第2部の最初の発表者は、薬剤部の奥村早穂薬剤師でしたが、感染制御チームとしてのご発表でした。抗菌薬の疑義照会など、我々医師の至らない部分に痺いところまで目が行き届くような活動内容で、いつものことながら、感服致しました。今後是非頑張っ



**PD,PSP患者における
バランス機能の低下が
歩行能力に与える影響**

理学療法室
理学療法士 前田 旅人

2番目は、リハビリテーション部 理学療法士の前田旅人さんでしたが、パーキンソン病や進行性核上性麻痺の患者さんの歩行機能に関して、バランス機能に着目し、その歩行能力との相関関係を吟味した素晴らしい内容でした。神経内科専門の院長先生がうなるぐらいですから、専門的にも非常に価値のある研究であろうと推察致しました。学会発表も



**胆膵領域疾患の
内視鏡手技の取り組み**

消化器内科
麻植 啓輔

3番目は、麻植啓輔先生の内視鏡手技のビデオ映像など、生々しく見せて頂きました。私も研修医時代に高知大学病院の第一内科にお邪魔させていただいた際に、何回か見させていただきましたが、何度見ても非常に素晴らしい手技だと思い感動致しました。今回直前に無理を申し上げて、ご講演をお願いしましたが、ユーモアもたっぷりありながらの楽しいお話をいただけて非常に助かりました。ありがとうございました。

**パーキンソン病の
診断・治療
過去・現在・未来**

副院長 神経内科
吉村 公比古



最後は、吉村公比古先生のパーキンソン病に関する新しい治験などを教えていただいた御講演だったと思います。特に尤度というあらゆるリスクファクターの影響度のような指標をご紹介いただいて、聴衆の関心を高めていただいたことに感謝致します。先生の職員に対するご配慮がうかがわれまして、ありがたく思いました。吉村先生には病み上がりやお孫さんのご誕生直後のお忙しい状況で、45分という長丁場の御講演をお引き受けいただき本当に感謝致しております。お疲れ様でした。

**開院
48周年
記念祝賀会**
グレース浜すし
H29.4.19 (水)

統括管理部長 梅原 浩一

4月29日(水)午後6時00分よりグレース浜すしに於いて、開院48周年記念祝賀会が行われ、今年も約110名の職員が出席しました。毎年の恒例行事としてすっかり定着していますが、20名の新たな仲間も加わり、例年以上に盛り上がっていました。



この日の午後には院内発表会が行われ、各部署から日頃の取り組みや成果、高度な学術的報告など前向きで大変有意義な話が伺えました。準備段階から発表者、聴講者の熱心な姿勢には毎年感心させられます。

祝賀会はいつもの様に、明るく、楽しい南国病院カラ一全開で楽しい時を過ごすことが出来ました。昨今の医療業界を取り巻く環境は厳しいものがありますが、全て吹っ飛ばすような勢いを感じました。少し気が早いですが忘年会も楽しみです。



第6回 看護部チーム発表会 看護部チーム会活動の 振り返り

多目的ホール H29.3.9 (木)



教育チーム 2病棟看護主任 武内 尚子



平成28年度の院内看護部研修は高知赤十字病院の認定看護師による研修が3件、当院のスタッフによる研修が9件でした。四国摂食・嚥下研究会と日本難病医療ネットワーク学会学術集会の発表に向けて学術研修会で予行練習を行なって頂き、参加者からの意見を参考にし修正を行ない発表することができました。CVPPPや身体抑制、安楽な移動の方法などを実践して頂き、実習の重要性を認識できました。また、病院機能評価受審に向け看護手順マニュアルの修正、新人看護師の看護技術についての評価表の修正も行ないました。平成29年度の研修会も充実した内容が行えるようにスタッフからの要望を取り入れていきたいと思っていますのでアンケートへのご協力と研修会への積極的な参加をお願いします。

記録チーム 5病棟看護師 前田 春樹



病院機能評価受審対策委員会で記録について話し合ったことをチーム会で検討してきました。たとえばICカンファレンス欄の活用方法や、入院患者の患者カードを入院後どうするかなど、全病棟統一した方がよいものについて検討しました。

また、機能評価受審時には、入院時のフェイスシートの未入力指摘されましたので、それをなくすための取り組みを検討しました。そして記録監査表が電子カルテに沿っていない部分があるため見直しを行ない、12月から使用することにしました。

次年度の活動計画としてフェイスシート、監査表、看護計画、看護記録の充実を図り、各看護師に記録内容に関して指導的関わりができるよう取り組んでいきたいと考えます。

医療安全チーム 5病棟看護師 高崎 礼子



平成28年度の主な取り組みは、機能評価受審も踏まえ、①“ネームバンド”の導入と使用について検討し、安全確認のため導入し実施しました。②“5S活動”として物品管理・整理・整頓を実施し、在庫管理がしやすくなりチーム内での5S活動が定着してきました。③“救急カートの見直し”としては、マグネット板を利用し不足物品をマグネット板に記入し、直ぐに補うように各病棟に徹底しました。このことはカートの施錠をなくすことにもつながりました。そして、カート内のハイリスク薬と病棟配置薬についての見直しも行いました。使いやすい救急カートであるために、今後も見直しを続けていきます。平成28年度を振り返ると、安全管理・業務改善への進展につながったのではないかと思います。